

技術・実践

口腔内の健康意識と保健行動

盛岡赤十字病院 健診部¹⁾・中村・北條クリニック²⁾
 佐々木志津子¹⁾・鎌田 弘之¹⁾・中村ますみ²⁾

はじめに

歯周病は全身に様々な影響を及ぼし重症化することが知られている。歯周病の予防には定期的に口腔内の状態をチェックし、メンテナンスする習慣付けが必要であり、歯科診療のかかりつけ医を持つことが重要であると考えた。健診部としてどのような働きかけが有効かを検討するため、口腔内の健康に対する認識と、実際の保健行動についてのアンケート調査を行ったので報告する。

I. 方 法

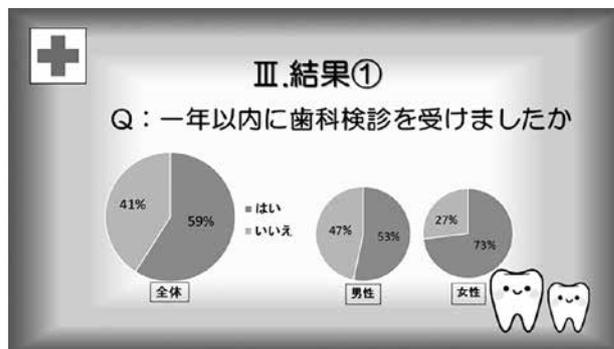
調査期間：平成29年4月～7月
 調査方法：紙面によるアンケート調査
 対 象：当院ドック受診者（日帰り・一泊二日）
 100名（男性74名，女性26名）
 年齢30～70歳，平均52歳

II. 倫理的配慮

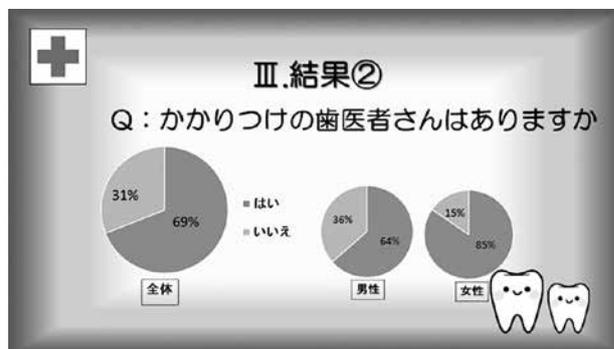
研究の趣旨とプライバシーの保護，研究への同意は自由意思により決定できること，また，調査協力しなくても不利益は生じないことを伝え同意を得た。

III. 結 果

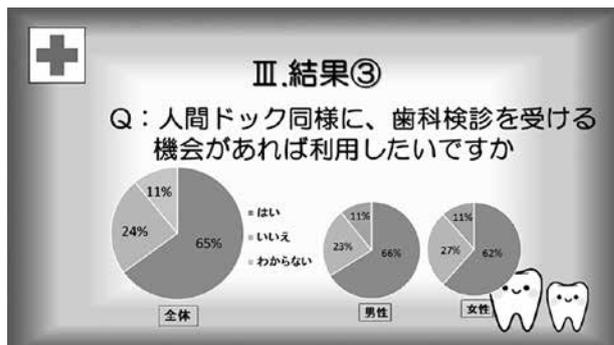
①一年以内に歯科検診を受けたと答えたのは男性53%，女性73%で全体では59%だった。



②歯科のかかりつけ医を持っているのは男性64%，女性85%で全体では69%だった。



③人間ドック同様に歯科検診を受ける機会があれば利用したいと答えたのは男性66%，女性62%で全体では65%であった。



利用しないと答えた24% (24名) のうち20名 (複数回答) はすでにかかりつけ医を持っていた。わからないと答えた11%の中で、不都合があったら行くが10名、どこが良いのかわからないが2名、きっかけがないが1名だった。その他意見・要望は以下のとおり。

- ・ 歯科検診がドックの項目にあれば良い。
- ・ 今まで歯科検診を受けるきっかけがなかった。
- ・ 歯の病気から全身に及ぶ病気があることを知らなかった。
- ・ ドックとは別の日でも良いので行ってみたい。
- ・ 歯科は困ったことがあったら行くが、痛くないのに行きたくない。歯肉チェックが痛い。
- ・ 歯科検診が同じ施設内で受けられたら良い。別な日なら行かないと思う。
- ・ 歯の病気から全身に及ぶことはテレビで見て知っていたが、きっかけがない。
- ・ 症状がなければ受診しないが、同じ日に出来るなら良いと思う。
- ・ 1回行けば苦痛なく行けようになる。きっかけがあれば良いと思う。
- ・ 娘に勧められて通うようになった。定期検診は必要だと思う。

IV. 考 察

歯科領域の疾患、特に加齢に伴って罹患率の上昇を認める歯周病はその菌の刺激で脳や心臓の血管が動脈硬化になりやすく、脳梗塞や心筋梗塞などの危険性が高まる。また、このような重篤な疾患をひきおこすだけでなく糖尿病などの生活習慣病が悪化することも知られている。厚生労働省が3年ごとに実施している「患者調査」の平成26年調査によると、「歯肉炎及び歯周疾患」の総患者数は、331万5千人で、前回の調査よりも65万人以上増加している¹⁾。増加傾向にある歯周病予防の対策として健診による早期発見は有効と考えられる。しかし、歯科検診の現状を見ると自治体の自主事業として行われてはいるが、職域健診や人間ドックでは一般的とは言えない。今回アンケートを行った結果、過去1年

間に歯科検診を受けた人の割合は59.0%であり²⁾、厚生労働省の平成28年「国民健康・栄養調査」結果の52.9%とほぼ同様であった。またかかりつけ歯科医を持っている人の割合についての全国的データはないが、今回の調査結果から全体で69%、特に女性は85%の人が歯科のかかりつけ医を持っており健康に対する意識の高いことがわかった。それでもなお、歯科受診の機会があれば受けたいという人が65%と多いことから、歯科検診の重要性を認識しつつも、可能ならワンストップで受けたいというニーズがあると考えられた。この結果を、盛岡市歯科医師会に所属し、現在当院の栄養サポートチームとして歯科回診を担当いただいている中村ますみ医師とディスカッションした。中村医師からは「かかりつけ医を持っているといっても、数年に一度しか来院しない人が65%で、ほとんどの人は不具合がなければ訪れない。歯科検診を予防医療に繋げていくには、歯科に来院した人だけに対応していても限界がある。健診の場などでポンッ！と背中を押していただければ大きな効果も期待できる」と示唆をいただいた。歯科の診療科を持たない当院の現状では当日の検診項目に歯科検診を入れることは困難である。しかし、歯周病を予防することが生活習慣病や重篤な疾患を予防することに繋がることを注意喚起し、定期的な歯科受診を勧めていくことは可能である。健診部が予防医療に繋がるきっかけ作りの場としての一助となれるよう、今後更なる方策を検討していきたい。

V. おわりに

- ・ 歯周病リスクに関する情報提供によって、注意喚起を促す。
- ・ パンフレット等を用いて歯科受診のきっかけ作りを積極的に行っていく。

* 健診と検診の意味

健診：総合的な健康診断

検診：特定の病気かどうかの診察

(本論文の要旨は平成30年2月14日 第5回
HIPOCで発表した)

文 献

- 1) 厚生労働省. 平成26年(2014)患者調査の概況. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/14/index.html>
- 2) 厚生労働省. 平成28年「国民健康・栄養調査」の結果<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000177189.html>
- 3) 日本歯科医師会 歯科健診を定期的に受けよう
<http://www.jda.or.jp/enlightenment/poster>
- 4) 日本臨床歯周病学会 歯周病が全身に及ぼす影響
<http://www.jacp.net/perio/effect/>